令和7年度
上川地区登山道補修業務
報告書

発注者:北海道地方環境事務所

受注者:合同会社　北海道山岳整備

1　業務目的

大雪山国立公園上川地区に所在する、環境省所管の愛山渓北鎮岳線道路（歩道）及び沼ノ平姿見の池線道路（歩道）について、周囲の植生の保護を図り、登山者の適切な利用に供されるよう、荒廃が生じている箇所や荒廃が生じるおそれのある箇所を対象に登山道補修を実施するもの。

2　業務内容

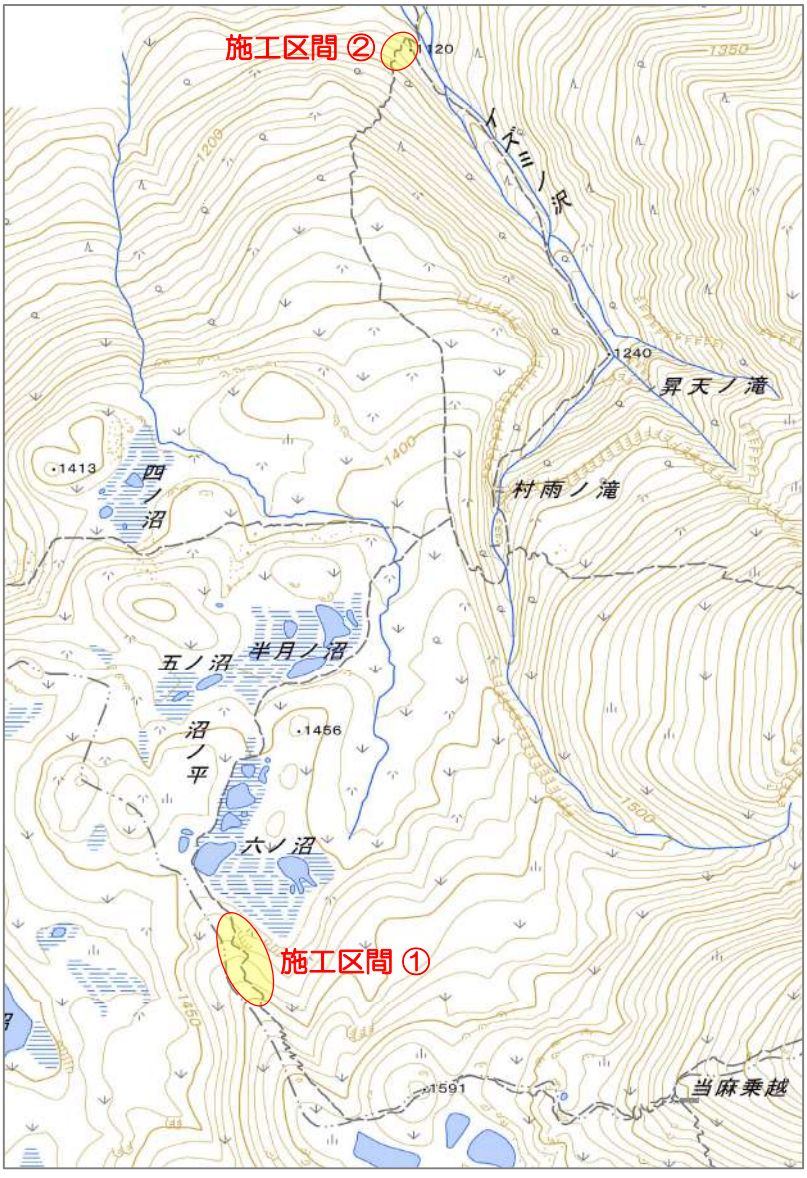
三十三曲分岐～当麻乗越の区間において侵食が著しい箇所等を対象に補修を行うこと。

3　実施内容

【施工量】・六ノ沼～当麻乗越の約250mの区間において、新規木道27基（約50m）設置
・三十三曲分岐～標柱「三十三曲」の区間の侵食箇所3箇所において、木柵階段9段、石段1段の設置
※木道設置に当たっては、冬期にスノーモービルで運搬した木材72本を使用。

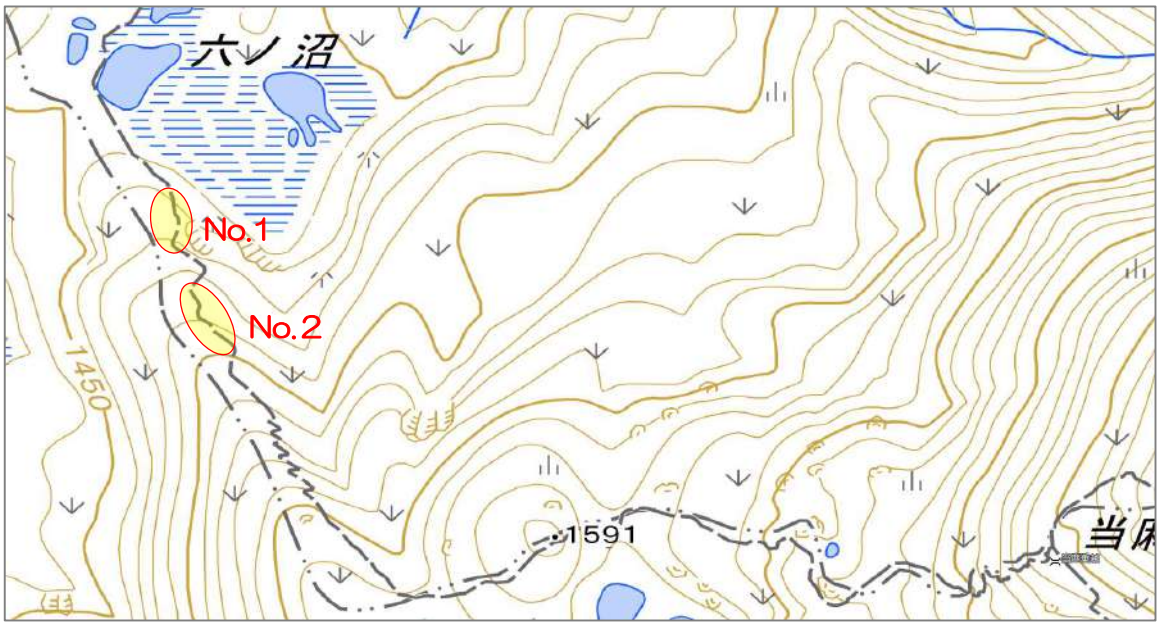
【施工日】2025年9月7日、8日

＜実施場所＞

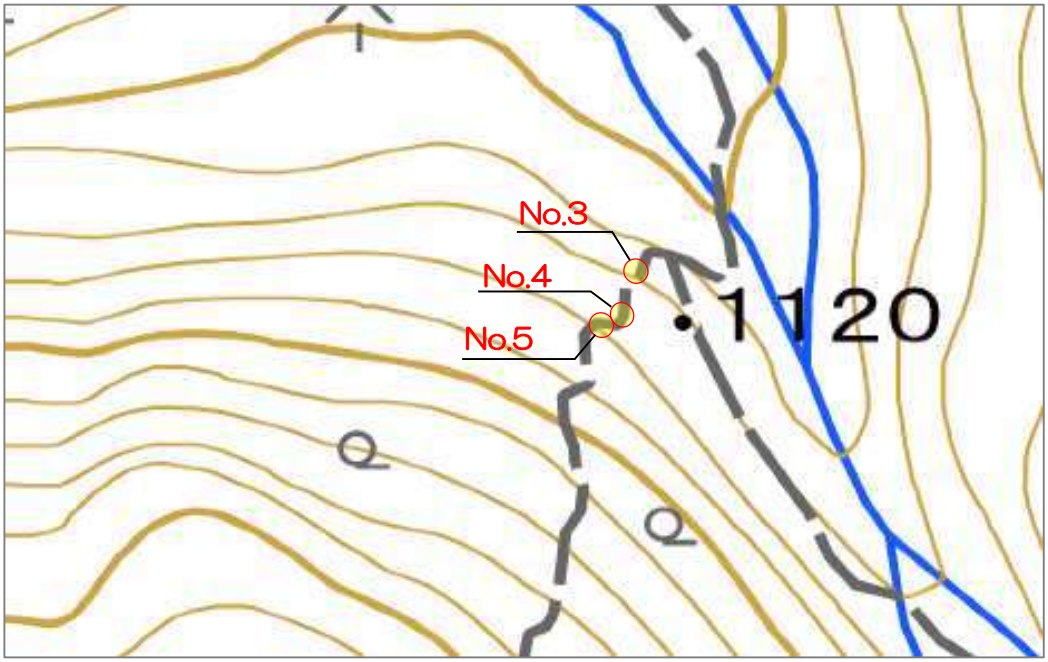


＜施工位置図＞

施工区間①



施工区間②



施工箇所	施工内容	施工区間距離
No.1	新規木道設置13基	約24m
No.2	新規木道設置14基	約26m
No.3	木柵階段設置2段	約3m
No.4	木柵階段設置3段	約3m
No.5	木柵階段設置4段、石段設置1段	約6m

新規木道設置基数:27基　及び　木柵階段9段、石段1段

4　施工内容

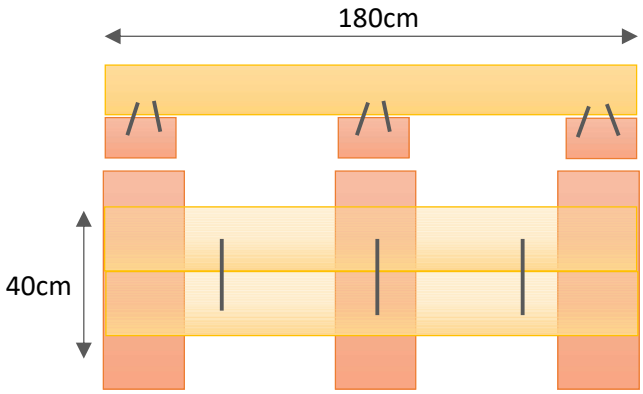
【新規木道の設置】
・六ノ沼～当麻乗越のうちの約250mの区間において、新規木道27基（約50m分）設置した。
・この区間は踏圧の影響でぬかるみになっていることが多く、それに伴う土壌流出が起きている場所である。また、土壌流出によりガリーとなっている場所もあり、狭いガリーを避けて登山道脇の法面を歩行することでさらに土壌を削る悪循環も起きている。これ以上の侵食を防ぐために、新規木道の設置を行なった。新規木道の設置により、周辺植生への踏圧による影響は減るものと思われる。



・斜度のある場所では、木材をそのまま並べると木道自体に傾斜がついて歩行時に滑りやすくなるため、階段状にするなど木道自体はできるだけ平らになるよう工夫して設置した。
・木道が飛び飛びに設置されていると、登山者は段差を嫌い木道を使用しないことが多いため、できるだけ連続した形になるように設置している。

＜木道の仕様＞
・長さ180cm、幅40cm
・枕木は前後に2本もしくは3本（60cm）
・カスガイで固定（1基17本を使用）

※上記を基本としているが、場所に合わせて枕木の位置や木道の長さを変更するなど、地形に合わせた形での設置を行なった。



【土壌流出箇所の補修】
・三十三曲分岐～標柱「三十三曲」の区間の侵食箇所3箇所において、木柵階段9段、石段1段の設置を行なった。
・踏圧と流水により土壌が流出し、段差が高くなっている場所の対応。歩行に支障があるとともに、落下水による洗堀によりさらに侵食が進む状況となっている。木柵階段及び石階段の設置により段差を解消し、流水による洗堀を緩和するとともに、これ以上の土壌流出を防ぐための施工を行なった。
・資材は周辺の倒木や砂利等を集めて使用した。



登山道補修整備記録	施工箇所	施工内容	施工区間距離
施工前後	No.1	新規木道設置13基	約24m



登山道補修整備記録	施工箇所	施工内容	施工区間距離
施工前後	No.1	新規木道設置13基	約24m










登山道補修整備記録	施工箇所	施工内容	施工区間距離
施工前後	No.2	新規木道設置14基	約26ｍ










登山道補修整備記録	施工箇所	施工内容	施工区間距離
施工前後	No.2	新規木道設置14基	約26m










登山道補修整備記録	施工箇所	施工内容	施工区間距離
施工前後	No.3	木柵階段設置2段	約 3 m





上から





登山道補修整備記録	施工箇所	施工内容	施工区間距離
施工前後	No.4	木柵階段設置3段	約 3 m





上から



登山道補修整備記録	施工箇所	施工内容	施工区間距離
施工前後	No.5	木柵階段設置4段、石段設置1段	約6m







登山道補修整備記録	施工箇所	施工内容	施工区間距離
施工前後	No.5	木柵階段設置4段、石段設置1段	約6m

上から










作業中



2025年3月にスノーモービルで運搬した木材。これらを使用して木道を作成した。



使用する木材を、残置場所から木道設置場所へ移動。



クワで若干土面を削り、枕木がぐらつかないように固定する。

作業中



ぐらつきがないよう、固定する前に前後左右のバランスを細かく調整する。



岩盤がある場所やガリーの中への木道設置の為、各所で場所に合わせて木材をカットする、枕木の位置をずらす等の工夫が必要。



木道と枕木をカスガイで固定。1基あたり17本程度のカスガイを使用。

作業中



周辺から倒木を切り出して現地まで運搬する。



切り出した木材の運搬。



使用する石材は主にイズミノ沢から収集して運搬。

作業中



木柵階段の設置。固定する前に完成図をイメージして位置を確認する。



木柵階段設置作業。木材をカケヤで打ち込み固定する。



歩行面となる木柵の背面には、収集した砂利を充填。